

温篤新聞

通巻123号



「消費税増税10%!!」

個人的見解ですが、現在の日本の経済情勢や世界の地政学的リスクをみて今の増税は絶対にありえないと豪語してきましたが、いよいよ10月より消費税が10%に増税されてしまいます。

超高齢化社会を迎えようとしている我が国において、社会保障費の財源を確保する事は必要不可欠なため、やむを得ない選択なのかもしれません。賛否意見がある中、皆さんはどうお考えでしょうか。

増税により収入である財源を確保する一方で、支出である社会保障等の削減も急務で、この

度、健康保険組合連合会は、湿布や花粉症の治療薬など市販薬で代用できるものを保険適用外とする案を出してきました。

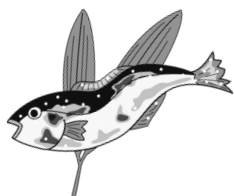
現在、病院で処方される市販薬と同じ有効成分を持つ医薬品の総額は年間5000億円以上と言われていています。これら全部とは言いませんが、この何割かでも削減できるのなら、本当に医療が必要としている人が恩恵を受けられるのではないのでしょうか。

例えば、年間700億円以上使用される湿布薬。1回の処

医食同源

アユ

筋肉や皮膚、血液を作るタンパク質が多く含まれています。骨を強くし、神経を安定させるカルシウムも豊富にあつて、骨粗鬆症を予防する働きがあります。また粘膜も丈夫にするので、胃腸にもよいとされます。



今月のツボ

缺盆(けつぽん)

鎖骨の上の部分には、筋肉や皮膚がお盆のようにくぼんでいます。ツボ名は、お盆のように骨肉のくぼんでいるところというツボのある位置を意味しています。

場所は、鎖骨の上に大きめの骨のくぼみがありますが、缺盆はこの



のくぼみの中にあります。左右の乳頭から上に引いた線上を目安に探します。

喘息、息苦しさ、胸苦しさ、胸の痛み、肋間神経痛、急性の熱病などに用いられます。また、胸や腕へ抜ける神経の通り道にあるツボなので、これらの部位に関係する症状の治療にも用いられます。

方で上限の70枚ももらう人がいるそうです。急性の外傷なら必要かもしれませんが、それだけの枚数はまず必要以上です。慢性的な症状に、もしそれだけ使用しなければならぬとするならば、本当に治療に役立つのでしょうか。

また、約400億円使用される脂質異常の改善薬も、多くの人はお金を出して薬で治療するべきものでなく、食費というお金を削減して治療すべきものだと思います。これに国民の税金を使用して治療するのはいかかなものかと思いませんか。

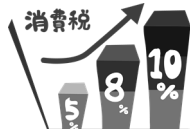
話は戻りますが、そう言っても増税は

されてしまうわけで、増税前に購入した方が良い物、後に購入した方が良い物とあります。その中でも、当院と関わりが深い物に回数券があります。回数券を増税前に購入しておいて、増税後に使用していくのが、お得な使い方になります。

しかし、当院の治療費や回数券の料金は増税後も変わらずさせて頂きますので、どうぞご安心下さい。

院内で使用・消費する物の購入や私生活での支出など個人的には増税の煽りを受けるわけですが、政府の押し進めるQRコード決済やクレジットカードによるキャッシュバックは、増税のよる消費の落ち込みを緩和するためのキャンペーンに過ぎないので、6月迄の期間限定ですし、当院のような小さな個人事業での決算手数料こそ患者さんの負担増になり兼ねません。

色々考えた結果、患者さんに負担増をお願いするよりも、時代に反して面倒な現金の方が、お役に立てるのではないかという結論に、ご理解頂ければ幸いです。



二十四節気と七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

そのよりどころとなったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また、二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらはほしい五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前がつけられています。

二十四節気

霜降

(十月二十四日)

北国から順々に霜が降り始める時期です。とはいえ、地面に土を見つけることがだんだん困難になってきている都会では、冬の訪れを確認しようにも、なかなか霜自体にお目にかかることが少なくなってきました。

『心の持ち方で仕事の出来栄も違う』

単調な仕事を頼まれた時など、「なんでこんな仕事を」とか、「自分ほもつとやりがいのある仕事がしたいのに」と思うこともあるでしょう。しかし、大きな仕事も一つ一つの小さな仕事結び付き、積み重なって出来るものです。

同じ仕事をしていても、それが苦痛になるか、喜びや充実感を味わえるか、また、関わりのある人たちの事を思いやって進めることが出来るかどうかは、自分自身の心の持ち方に関わっています。その心の持ち方で、仕事の出来栄も違ってくるのです。そして、それは自分自身の人間的成長にも関わってくるでしょう。

「一日一話」より



食物繊維が豊富で、お通じに良いというイメージが先行していますが、ビタミンCをはじめとするビタミン類やミネラルをバランスよく含み、栄養価が極めて高い食材です。凶作の年でも収穫されることから、江戸時代に

広く普及しました。

二大品種は関東で人気を集めている紅あずまと鳴門金時に代表される高系14号。他にもオレンジ色の果肉が特徴の種子島産の安納芋など様々な種類があります。

選ぶときに注目すべきは切り口。密が出ていたり、密の跡が黒く残っているのは糖度が高い証拠です。調理の際は低温でじっくり加熱し甘みを引き出すのがコツです。



七十二候 (十月二十八日~十一月一日頃)

霎時施(つゆめとぎまきらる)

秋雨のようにしとしと降り続くのではなく、パラパラとしずくを散らしてじきに止んでしまうような雨です。地面に重なる落ち葉に蕭々と降る雨はどこか物寂しく、無常を感じます。11月に入れば太平洋側では晴れの日が続くようになりますが、日本海側は曇りがちで、空を見上げて初雪を待つ日々がやってきます。



旬のやさしい

なつまいも

執筆余話

アメリカでは金利を下げても景気回復に努めているというのに、やっぱり今の増税に私は反対です。

軽減税率も反対です。低所得者の生活に関わる物を増税の対象から外すという名目ですが、100円のサンマで慎ましく生活している人は、2円の恩恵しか受けられないというのに、10000円の松坂牛を買って帰る人は200円の恩恵が受けられるなんて、明らかに低所得者向けな政策ではありません。

キャッシュレス決済の恩恵も、クレジットカードが持てない若年層やスマホを持っていない高齢者には恩恵が得られません。

10%という数字自体は計算し易くて良いのですが、どう考えても今ではないと思います。

増税反対ではなく、増税撤回さらには消費税5%に!!なんていう野党は出てきませんか。あつ!! ああ党が言ってますねえ。



10月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		